

幌加内町令和4年予算審査特別委員会 第1日目

令和4年3月8日（火曜日）

○出席委員（9名）

委員長	7番	中村雅義君	副委員長	2番	市村裕一君
副委員長	8番	小関和明君		1番	中川秀雄君
	3番	中南裕行君		4番	藤井祐君
	5番	稲見隆浩君		6番	蔵前文彦君
	9番	小川雅昭君			

○欠席委員（0名）

○出席説明員

町長	細川雅弘君
副町長	大野克彦君
教育長	村上雅之君
総務課長	中河滋登君
地域振興室長	新江和夫君
産業課長	清原吉典君
建設課長	宮田直樹君
住民課長	山本久稔君
保健福祉課長 診療所事務長	竹谷浩昌君
会計管理者	蔵前裕幸君
総務課主幹	椿英万君
総務課主幹	三浦依理子君
総務課長 財務係長	高木敏光君
ふるさと 納税係主査	梅津孔希君
住民課補佐	岩本美佐江君

○出席事務局職員

事務局長	加藤誠一君
書記	岡田由美君

開会 午後 2時00分

◎開会・開議の宣告

○委員長（中村雅義君） ただいまの出席委員数は9名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

これより令和4年度幌加内町各会計予算の審議を行います。審議に先立ちまして一言ご挨拶申し上げたいと思います。委員各位並びに説明員の皆様におかれましては、午前中の本会議に引き続きご出席いただき、厚くお礼申し上げます。本会議において予算審査特別委員会が設置され、私が委員長としての重責を担うことになりました。委員の皆様には、限られた日程の中ではありますが、能率的かつ効果的な委員会運営がなされますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。また、議会は議会の立場で広く客観的に、町民の負託に応えられるよう政策の内容、費用対効果など十分に議論を重ねてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

◎議案第18号～議案第24号

○委員長（中村雅義君） それでは、これから付託を受けました議案第18号から議案第24号までの令和4年度各会計予算の件を議題といたします。

審議に入る前に、特別委員会の運営方法について事務局より説明いたします。

○事務局長（加藤誠一君） （予算審査特別委員会運営方法朗読、記載省略）

○委員長（中村雅義君） 以上で説明を終わります。

お諮りします。以上の審査方法により直ちに審査を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 異議なしと認め、そのように取り進めることにいたします。

暫時休憩します。

休憩 午後 2時05分

再開 午後 2時07分

○委員長（中村雅義君） 休憩を閉じて、これから審査に入ります。

説明員の皆さんに申し上げます。先ほども説明がありましたように、新規の部分、昨年度と変わる部分を中心に説明を行っていただき、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

それでは、会議に入ります。

これから議案第18号 令和4年度幌加内町一般会計予算の説明及び質疑を行います。

総務課所管の歳出、1款議会費、2款総務費の審査を一括して行います。

説明をお願いします。

総務課長。

着席のままでよろしいです。

○総務課長（中河滋登君） それでは、総務課所管の予算についてご説明させていただきます。

歳出の74ページ、75ページをお願いいたします。1款1項1目議会費、本年度予算額3,645万9,000円で、対前年比216万3,000円の減でございます。この目特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。

2款1項1目一般管理費、本年度予算額5,008万7,000円、前年度比436万6,000円の増であります。この目では、8節旅費で自治研修旅費でございますが、この中のうち、昨年度におきましてはコロナの関係で落としていました自治研修旅費を136万3,000円増額しているところでございます。続きまして、10節需用費中、燃料費で114万円の増でございます。そのほか、このページ特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。13節使用料及び賃借料、一番上になりますが、車借り上げ料中、町長車を購入することとしておりますが、その納入までの間、約6か月を見ておりますけれども、土日などタクシーを使用することを想定して、このうち90万円を予算計上しているところでございます。そのほか、この目について特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。

3目文書広報費、本年度予算額303万7,000円、対前年比25万5,000円の増でございます。この目では、10節需用費中、広報印刷費の中で広報収納ファイル、これを1,100冊作成するため、22万9,900円の増額となっているところでございます。そのほかは特にございません。

次のページをお願いいたします。5目財産管理費、本年度予算額7,308万6,000円、対前年度比4,585万9,000円の増でございます。この目では、14節工事請負費、副町長からの概要説明でもございましたが、多目的広場整備工事2,687万5,000円で、多目的広場として改善センター跡地を舗装化1,384平方メートル、上下水道を10か所整備し、イベントなどに活用できるようにするものでございます。その下、旧看護師宿舍解体工事685万3,000円でございますが、延べ床面積206.04平方メートル分を計上しているものでございます。その下、17節備品購入費、これも概要説明でもございましたが、町長車購入として662万2,000円、2,500ccのハイブリッド車を購入する予定で計上しているところでございます。その下、公用車購入費342万9,000円、これは教育委員会で8人乗りのミニバンを新規購入するための予算でございます。その下、備品購入費340万1,000円でございますが、公共施設の消火器の耐用年数が来ましたので、2年度間で入れ替える関係でございます。令和4年度分、244本分を見てございます。次のページをお願いいたします。そのほか、この目特に申し上げることはございません。

6目基金積立金、本年度予算額507万4,000円、前年度比49万5,000円の増でございます。この中では、下から2段目の森林環境譲与税基金、この分につきまして

76万7,000円の増額となっているところでございます。そのほか特にございませぬ。

7目支所及び出張所費、本年度予算額204万7,000円、対前年度比12万4,000円の増でございます。この目では、10節需用費中、やはり燃料費で8万1,000円の増でございます。それから、17節備品購入費4万6,000円は、刈り払い機が老朽化したため、1台購入するものでございます。そのほか特にございませぬ。

次のページをお願いいたします。9目地域振興費、本年度予算額3,738万4,000円、対前年比272万1,000円の増でございます。総務関係では、1節の報酬中、一番上になりますが、簡易郵便局事務取扱嘱託員報酬で126万円が増額となっております。要因といたしましては、母子里簡易郵便局でのフル稼働、それから保険業務の取扱いが再開されたということがあり、増額となっているところでございます。そのほか、この目についての総務関係特にございませぬので、次のページをお願いいたします。

10目地域情報通信費、本年度予算額2,046万円、対前年度比246万6,000円の減でございます。この目では、10節需用費で、昨年度特別修繕としまして政和地区及び朱鞠内地区の新築の住宅のため、電柱の支障移転工事費を当初予算で320万1,000円を見てございました。本年度におきましては、当初予算で新築分は見えていないことが減額の要因でございます。そのほか、ケーブル断線等発生した場合の修繕など、例年どおりの予算計上をしているところでございます。そのほか特にございませぬ。

11目総合行政情報システム費、本年度予算額6,406万1,000円、対前年比466万8,000円の増でございます。この目では、10節需用費中、特別修繕128万7,000円でございますけれども、役場庁舎1階の電算室のエアコン、家庭用、業務用各1台、計2台設置されておりますけれども、10年以上経過し、劣化のため入替えを行うための予算となっております。それから、17節備品購入費でございますが、概要説明でもございましたが、情報システム機器の購入費517万円、備荒資金を借り、整備したパソコンサーバー等の償還開始となったための増額としたところでございます。そのほか、この目特にございませぬので、総務関係少し飛んでいただきまして、94、95ページをお願いいたします。4項1目選挙管理委員会費、本年度予算額46万5,000円、対前年比7万1,000円の増額でございます。この目では、10節需用費中、消耗品費で選挙管理委員さんの任期が令和4年に訪れます。委員さんが入替えとなった場合にバッジ購入費等々の消耗品の関係で5万円増額をして、見ております。そのほか特にございませぬ。

続いて、2目参議院議員選挙費、本年度予算額550万8,000円、皆増でございます。令和4年、改選期を迎えることから、投票区を衆議院議員総選挙同様4投票区として、移動期日前投票の実施などを加味し、1節報酬から、次のページをお願いいたします。18節負担金、補助及び交付金まで、所要の予算を計上しているところでございます。内容の詳細については、特に申し上げることはございませぬ。

続きまして、3目知事、道議会議員選挙費、本年度予算額419万4,000円、これ

は皆増でございます。令和5年4月予定の統一地方選挙に合わせ、これも1節報酬から13節使用料及び賃借料まで、令和4年度中にかかる経費として予算を計上しているところでございます。そのほか特に申し上げることはございませんので、次のページをお願いいたします。

5項1目諸統計調査費、本年度予算額4万6,000円、前年対比20万9,000円の減でございます。令和4年度につきましては、住宅土地統計調査、経済センサス調査区管理、学校基本調査のみの年度となりますので、必要経費を計上しているところでございます。そのほか特にございません。

6項1目監査委員費、本年度予算額126万3,000円、前年度と同額でございます。この目についても特に申し上げることはございません。

7項1目総務対策費、本年度予算額90万6,000円、対前年比90万5,000円の増額でございます。10節需用費中、消耗品費で90万6,000円でございますが、町民向けのコロナウイルスの抗原検査のための簡易キットを500セット購入し、町民の皆様からの申請により、お一人原則1回の検査ということで配付する内容となっております。この項、2目以降につきましては、各担当部署からご説明を申し上げます。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

委員各位に申し上げます。質疑は簡潔明瞭に、また一問一答になるようお願いいたします。

それでは、事項別明細書74ページから質疑を受けます。1款議会費、1項議会費、1目議会費、74ページから質疑を受けます。74ページ、75ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、76ページから質疑を受けます。76ページ、77ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 78ページ、79ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 82ページ、83ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 84ページ、85ページについて質疑ありませんか。

3番、中南委員。

○3番（中南裕行君） 6目の基金積立金でお伺いしたいのですけれども、この間も新聞にちょっと出ていたと思うのですけれども、森林環境譲与税なのですけれども、ほとんどの自治体が使わなくて基金に積んでいると新聞では報道されていましたが、うちの

町は目的があって積んでいると思うのですが、どういう目的のとき使おうというふうにお考えでしょうか。

○委員長（中村雅義君） 総務課長。

○総務課長（中河滋登君） 森林環境譲与税に関しましては、ほろたち線整備なども行っておりますので、道の事業というふうになりますけれども、その関係で路網の整備だとかいろいろと、直接関係しているところは産業課というふうになろうかと思っておりますので、そのほかあと町有林で未整備のようなところを順次整備していくために基金を積み立てておくというようなことで伺っております。特定の場所等まで私のほうで把握しかねているところがございます。申し訳ありませんが、そういうことでございます。

○委員長（中村雅義君） 副町長。

○副町長（大野克彦君） 若干補足させていただきますけれども、森林環境譲与税につきましては、基本的には民間、民有林、そちらのほうに使われるというものがありましたので、今ちょっと課長言われましたけれども、町有林という町が持っている財産については使用はできないというふうになっておりますので、民間が整備する事業に対して使用するというのが国の目的となっております。実際今すぐ民有林で事業がありましたら、それに補填とか行えるのですけれども、民間の方で具体的にまだすぐ使用するというような目的がございませんので、将来に向けて積立てをしておくというようなことでこのような形になっております。

以上です。

○委員長（中村雅義君） そのほかにも84ページ、85ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 86ページ、87ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 88ページ、89ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして94ページ、95ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 96ページ、97ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 98ページ、99ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 1款、2款全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで1款、2款の質疑を終わります。

次に、9款消防費、12款公債費、13款諸支出費、14款職員費、15款予備費の審

査を一括して審査を行います。

説明をお願いします。

総務課長。

○総務課長（中河滋登君） 先ほどの基金の関係で説明が間違っておりまして、大変申し訳ございませんでした。失礼いたしました。

それでは、ページを飛んでいただきまして154ページ、155ページをお願いいたします。9款1項1目消防総務費、本年度予算額1億6,730万9,000円、対前年度比581万4,000円の減でございます。主な要因としましては、職員が1名退職、その退職職員が会計年度任用職員として短時間勤務でまた就いていただけるような予定となっておりますので、それらに係る人件費等の経費が落ちていることがこの中で主な要因というふうに押さえております。また、その下の幌加内町消防団員自動車運転免許等取得費補助金、これにつきましては昨年度100万円でしたが、実績に基づきまして本年度は64万円の計上とさせていただいているところでございます。

続きまして、2目災害対策費、本年度予算額502万4,000円、対前年度比87万9,000円の増でございます。この目では、10節需用費中、修繕料で改修しました朱鞠内コミュニティセンターの非常用電源を使用できるように切替え開閉器修繕で36万3,000円がこの中に含まれているところでございます。それから、12節委託料、洪水ハザードマップ作成業務委託料72万5,000円でございますが、避難場所の変更などがございました。シール等での修繕といたしますか、直すこともできるのですけれども、経費的に1,200部全部刷り直したほうが安く上がるということでございましたので、この予算を計上させていただいたところでございます。17節備品購入費中でございますけれども、非常用の発電機、政和コミセンに1台、それから朱鞠内コミュニティセンターに2台、計3台で175万5,600円、それから朱鞠内コミセンのほうで避難所の暖を取るためにポータブルストーブを3台、7万9,860円、それから同様に避難所となっておりますまどかに業務用の扇風機2台、2万8,380円など購入するため、前年度比で69万3,000円の増というふうになっているところでございます。次に、このほか特に申し上げることはございませんので、またページを少し飛んでいただきまして186ページ、187ページをお願いいたします。

12款1項1目元金、本年度予算額5億5,994万9,000円、対前年度比843万9,000円の減でございます。特に申し上げることはございません。

2目利子、本年度予算額1,294万3,000円、対前年度比72万円の増でございますが、これについても特に申し上げることはございません。

次のページをお願いいたします。13款1項1目土地取得費でございますが、本年度予算額として50万円を計上して、前年同額となっております。今のところ具体的に取得する事案がないことから、科目存置として予算計上をさせていただきました。

次のページをお願いいたします。14款1項1目職員給与費、本年度7億4,211万

8,000円、対前年度比2,134万7,000円の減となっております。この後に資料がついておりますけれども、職員数、前年度69名に対しまして本年度66名、会計年度任用職員の短時間勤務ですが、前年度が73名、本年度が71名とそれぞれ人数減があり、それに伴い、給料をはじめ関係予算が減額となっているところでございます。

次のページをお願いいたします。15款1項1目予備費500万円で、対前年度比同額でございます。特に申し上げることはございません。

以下、先ほど申し上げましたとおり、194ページ以降に給与の明細等を添付しておりますので、後ほどお目通しをお願いいたします。

以上で総務課所管の予算の歳出の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、事項別明細書、9款消防費、1項消防費、1目消防総務費、154ページから質疑を受けます。154ページ、155ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして、次に12款公債費、1項公債費、1目元金、186ページから質疑を受けます。186ページ、187ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、13款諸支出費、1項普通財産取得費、1目土地取得費、188ページから質疑を受けます。188ページ、189ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、14款職員費、1項職員費、1目職員給与費、190ページから質疑を受けます。190ページ、191ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 次に、15款予備費、1項予備費、1目予備費、192ページから質疑を受けます。192ページ、193ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 9款、12款、13款、14款、15款全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） これで9款、12款、13款、14款、15款に関する質疑を終わります。

以上で総務課所管の質疑を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午後 2時39分

再開 午後 2時40分

○委員長（中村雅義君） 地域振興室所管の2款総務費について審査を行います。

説明をお願いします。

地域振興室長。

着席のままでよろしいです。

○地域振興室長（新江和夫君） それでは、着席のままご説明をさせていただきます。

令和4年度一般会計歳出予算、地域振興室所管の予算案についてご説明申し上げます。

事項別明細書、歳出、78ページ、79ページをお開き願います。2款1項2目企画費、本年度予算1,059万6,000円、前年度予算2,090万円、1,030万4,000円の減であります。主な要因は、まちづくりビジョン策定ワークショップ関連の委員報酬、費用弁償、委託料で1,034万3,000円の減が主な要因となります。それでは、節ごとのご説明をいたします。1節報酬16万1,000円、前年比60万9,000円の減となりますが、まちづくりビジョン策定ワークショップ委員報酬で68万円の皆減によるものです。各審議会の委員報酬となりますが、報酬欄の下段にあります幌加内町総合振興計画については第8次計画が令和7年度よりスタートする予定であります。計画策定の準備段階の年度となりますが、場合によっては年度末に審議会の開催の可能性もあることから、審議会1回分の予算を計上させていただいております。それ以外は説明は特にございませぬ。8節旅費57万1,000円、こちらについても特に説明するところはございません。10節需用費148万5,000円、前年比4万9,000円の減であります。主な理由としてはほろみん号の消耗品、タイヤ代、それと燃料費の単価アップが増加しておりますけれども、移住体験住宅の修繕料の減によるものです。この節は、ほろみん号の運行管理費及び移住体験住宅の維持管理費が主なものとなります。消耗品費から修繕料までは、特に説明するところはございません。11節役務費になります。12万9,000円、前年同額でございませぬ。こちらにつきましては、移住体験住宅のWi-Fi通信料、それと寝具の洗濯料となります。細節については、説明するところはございません。12節委託料604万9,000円、前年比927万3,000円の減であります。まちづくりビジョン策定業務委託料で966万3,000円の皆減、ほろみん号の終点延伸に伴う運行業務委託料で38万9,000円の増が主な要因となります。主にほろみん号の運行管理費及び移住体験住宅の維持管理費に係る経費となります。細節については、特に説明するところはございません。次に、移住体験住宅の実績でございませぬけれども、令和3年度につきましては新型コロナウイルスの拡大によりましてまん延防止ですとか緊急事態宣言がございまして、3件6名の方が中止をせざるを得ない状況となりました。唯一その間を縫って1件2名の方が21日間利用されておまして、この方々につきましてはワーケーション的な利用ということで、仕事をしながら移住体験をされたというような方で

ございました。また、ほろみん号の実績でございますけれども、令和2年度より令和3年度のほうが若干ですけれども、利用者が回復しておりますけれども、令和元年度と比較いたしましても半減程度になってございます。こちらコロナウイルスの関係が大きな要因かと思えます。また、ほろみん号の終点延伸に関しましては、2月17日付で旭川陸運支局長から正式に延伸の許可が下りております。続きまして、17節備品購入費であります。2万1,000円となりますが、こちらにつきましては移住体験住宅の電気ポットが故障し、修理不能となったことから、更新するものであります。18節負担金、補助及び交付金218万円、前年比25万5,000円の減であります。こちらにつきましては民間賃貸住宅家賃助成事業補助金で48万円の皆減、地域公共交通広域計画調査事業負担金で22万3,000円の皆増が主なものとなります。民間賃貸住宅家賃助成事業補助金につきましては、令和3年度当初当室で制度を創設したところでございますけれども、補助金の運用につきましては現在住宅を管理しております建設課のほうで担当するということになりましたので、令和4年度からの予算措置については建設課所管となったため、当室では皆減となったものであります。また、地域公共交通広域計画調査事業負担金につきましては、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が令和2年6月に改正され、北海道としても広域的な地域公共交通計画を策定する努力義務が生じたことから、上川総合振興局が事業主体となり、上川管内全域を対象として広域的な地域公共交通計画を策定することとなりました。こちらの事業費につきましては3,000万円となりますが、国で50%、道で25%、市町村で25%の負担割合で事業を実施するということとなっております。全体的に未実施の管内で令和4年度に実施するということになりました。本町の負担分として計上をしているものでございます。今後計画がなければ地域公共交通に係る国庫補助金等を受けることができないという見込みもあり、国の財政支援があるうちに事業に着手するというものでございます。そのほか負担金補助金については説明するところはありません。

次に、80ページ、81ページをお開き願いたいと思います。4目ふるさと納税運営費、本年度予算4,785万3,000円、前年度予算3,875万6,000円、909万7,000円の増であります。令和3年度5,000万円の寄附額を見込み、各種経費を積算、計上いたしましたが、令和4年度につきましては寄附額6,000万円と見込み、積算したところで、返礼品、送料、事務委託料など約740万円の増及び広報宣伝費を拡充したことによりまして約160万円の増となり、それらが主な要因となります。それでは、節ごとのご説明をいたします。7節報償費3,030万円、物産品宣伝費30万円、前年同額となりますが、こちらはふるさと納税のPRのイベント等に係るノベルティー等を作成する予定としております。ここで現在の状況について若干触れさせていただきたいと思いますが、現在返礼品参加事業者は14者となります。返礼品数が123商品、昨年は97商品となっておりますので、約30商品ほど増やしてきております。最新の寄附額につきましては、令和4年2月末現在でございます。これは受付件数ということでござい

ますけれども、4,841件、6,397万3,000円ということで、前年同月比で1,447件、1,789万4,000円の増となります。返礼品事業者とも連携をいたしまして、幌加内町のファンを一人でも増やすということで推進をしていきたいと思っております。また、町長の施政方針でもありましたとおり、北海道赤十字血液センターとの献血者確保、それとそばの消費拡大事業につきましても、ふるさと納税と連携をいたしましてPRポスター、またはSNSの活用など持続可能な事業となるよう努めてまいりたいと思っております。続きまして、8節旅費23万2,000円、こちらはふるさと納税研修セミナー参加及びPR用の旅費となります。10節需用費162万6,000円、印刷費160万1,000円につきましてはPR用カタログ4,000部、これは12ページ物ということで昨年より4ページ増やすということになりますが、それ以外に専用の封筒代、特産品のシール、それと2次元バーコードつきのPR用ポスターを1,000部作成したいと考えております。そのほか特に説明するところはありません。11節役務費562万7,000円、こちらにつきましては郵便料で73万2,000円のほか、広告料として489万5,000円となります。寄附者の約95%程度が携帯電話やパソコンからの申込みとなっております、広告料につきましても約400万円ほどをウェブですとかSNS版の広告に使用したいと考えております。また、多くの方の目に留まるような形で宣伝方法を工夫していきたいと考えております。12節委託料862万4,000円、寄附額6,000万円分のウェブサイトの使用管理、システムによる返礼品の管理業務委託料となります。次のページです。13節使用料及び賃借料144万4,000円です。寄附額6,000万円相当のクレジットカード、電子マネーなどの決済システムの利用料となります。こちらにつきましても、キャッシュレスというようなことで先ほど申し上げたクレジットカード、電子マネーの方で納税者の95%を占めるわけですけれども、そのうち約6割強の方につきましてはスマートフォンまたはタブレット端末からの申込みというようなことで、そちらのほうに重きを置いて今後進めていきたいと考えております。

続きまして、90ページ、91ページをお開きいただきたいと思っております。13目地方創生事業費につきましては、地方創生事業関連で地域おこし協力隊の予算計上がされており、地域おこし協力隊については、地域振興室及び産業課所管分が含まれておりますけれども、地域振興室所管分のみをご説明させていただきたいと思っております。協力隊全体といたしましては、産業課所管が4名、地域振興室所管が1名の計5名の予算が計上されております。地域振興室所管分といたしましては、本年度予算1,463万5,000円のうち614万3,000円、前年度予算が1,468万8,000円のうち644万5,000円となりまして、30万2,000円の減であります。主な要因といたしましては、地域おこし協力隊活動車両のリース料の減によるものとなります。それでは、節ごとのご説明をさせていただきたいと思っております。1節報酬6万5,000円、こちらにつきましてはまち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会委員報酬で6万5,000円となります。次に、7節報償費5万円、こちらは物産品宣伝費として5万円を計上させていただいてお

ります。こちらは、地域おこし協力隊の宣伝活動費ということになります。8節旅費191万円のうち73万5,000円となります。費用弁償で39万2,000円につきましては、まち・ひと・しごと審議会委員分で1万円、地域おこし協力隊分で38万2,000円、普通旅費で16万5,000円となりますけれども、こちらにつきましては職員の出張旅費となります。また、特別旅費17万8,000円につきましては、地域おこし協力隊募集活動旅費として計上させていただいております。10節需用費177万4,000円のうち78万2,000円となりますが、主に地域おこし協力隊に係る各種経費ということになります。続きまして、11節役務費でございます。116万円でございます。こちらにつきましても地域おこし協力隊の活動経費ということになっておりまして、電話料、広告料を掲載させていただいております。13節使用料及び賃借料でございます。こちらにつきましては、492万5,000円のうち143万1,000円となりますが、こちらにつきましても地域おこし協力隊の車両借り上げ、または借家借り上げというようなことになっております。17節備品購入費351万6,000円のうち87万9,000円となりますが、こちら地域おこし協力隊の家電製品等の購入費用ということになります。18節負担金、補助及び交付金123万5,000円のうち104万1,000円となりますが、こちらは地方創生運営事業ということで、次のページになりますけれども、補助金で100万円、諸会議負担金については特に説明するところはございません。

続きまして、190ページ、191ページをお開き願います。先ほど総務課のほうでも触れられているかと思えますけれども、14款1項1目職員給与費の中に地域振興室所管の会計年度任用職員の報酬等が計上されております。こちらにつきましては、一般会計全職員分が合算となっておりますけれども、当室所管分といたしましては会計年度任用職員の報酬で314万3,000円、会計年度任用職員の期末手当で40万円となっております。状況としては地域おこし協力隊1名、それと事務職の会計年度任用職員1名分の計上をさせていただいております。

以上で地域振興室所管の令和4年度一般会計歳出予算案のご説明を終わります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりましたので、これから質疑を行います。事項別明細書、2款総務費、1項総務管理費、2目企画費、78ページから質疑を受けます。78ページ、79ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 80ページ、81ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 82ページ、83ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを飛びまして90ページ、91ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 92ページ、93ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 2款全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 14款職員費、190ページから質疑を受けます。190ページ、191ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 以上で地域振興室所管の質疑を終了いたします。

◎延会の議決

○委員長(中村雅義君) 委員の皆様にお諮りします。

本日の委員会はこの程度にとどめて延会したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 異議なしと認めます。

したがって、本日はこれで延会することに決定しました。

◎延会の宣告

○委員長(中村雅義君) これで本日の委員会を閉じます。

延会 午後 3時01分